

平成 27 年度 事業計画・方針 承認

★本部事業

地産地消・地域が元気になる講演会

★食農部

- ・いのちにぎわう(多様な生物が生息する)農地環境を整え、安全・安心な食料としての農産物を生産し、供給できる農業を進める。そのために、小動物が安全に生育できる土作りからはじめる。
- ・生産者に栽培指導・営農指導会を実施する。  
「米の精」等の斡旋・取りまとめ・営農指導による品質管理
- ・生産から消費までの流通体制を検討し、有利な販売に向けた流通システムを研究する。  
JAとの流通交渉・数量管理、会員向け販売など
- ・「すずか姫」認証シール発行と米の商品価値向上への研究を進める。
- ・ファームの拡大(生産者、面積)と東近江エリアへのファームを展開する。
- ・ファーム生産者による観察シートを用いた生き物調査と調査結果を生かした表示方法を検討する。
- ・JA および行政、団体等との共同主催の研修会を実施する。

★里学部

- ・いきものみつけ寺子屋(環境学習の場)5月~12月の間、毎月実施する。寺子屋では、いのちにぎわう農地・里地では土壌が生きていること、圃場や川では太陽と水と大地とそこに生息する生きものの恵みが人類の健康と命をつないでいることを理解し、生物の多様性の重要性と命の循環について学ぶ。
- ・甲賀市みなくち子どもの森と市民協働による市民参加型いきものみつけ探検隊を募集し、調査結果をデータ化して市内での生きものマップを作成する。
- ・甲賀市以外での「生きもの観察シート」を作成する。
- ・観察シートを活用して認証する仕組みづくりを検討する。
- ・スタッフの役割分担と専門委員さんの活用をする。

★研究部

- ・「食農部」「里学部」の理念目標が実現するよう専門的研究を進め、その成果を具体化して活動に活かしていく。

里学部との関連—環境教育と共育の取組みのあり方

里山・平野・里海・流域・びわ湖等の環境・循環・生態系の基本的学習・

理解の進展

食農部との関連—安全・おいしさ・健康と土壌環境の関連性の検討

いきものの存在する場・生活や生業（農業・農村）  
組織部との関連—各地域単位の取組みと連携の仕方の検討  
情報発信における発信内容づくり

- ・滋賀県エリアへの取組みの拡大対応
- ・実施イベントの研究部的発展・深化に向けての工夫・研究
- ・協力して頂ける専門家・研究者との連携の拡大の取組み
- ・取組み地域の拡大に向けての取組みと人脈の拡大
- ・全国レベル・国際交流レベルの取組みの対応と農村・中山間地域の環境・生物多様性・地域の文化生活の取組みの動向の検討の発展の取組み

★総務部

- ・ホームページの活用
- ・ニュースレターの定期発信
- ・事務の役割分担
- ・安定的な事業収入をどのようにしていくかの検討とそのシステムづくり